

平成24年度事務事業評価シート

平成24年度より女性支援事業と統合し
女性子ども支援事業と名称変更

◎基本情報

Table with columns: 事務事業名, 担当部署, 総合計画体系, 根拠法令計画など, 事業期間. Includes details for '家庭児童相談実施事業' and '健康福祉部 人権推進課'.

◎事業概要(PLAN)

Table with columns: 事業対象, 事業目標, 成果目標. Includes checkboxes for '個人', '世帯', '団体', etc., and a table for '指標名' with years 22-26 and units.

◎実施結果(DO)

Table with columns: 事業実施内容, 事業実施手法, 指標名. Includes implementation details and a table for '指標名' with actual results and targets for years 22-26.

Table with columns: コスト分析, 22年度実績, 23年度実績, 24年度, 25年度, 26年度, 単位. Includes '事業費' and '事業にかかる人件費' breakdowns.

【事務事業名：家庭児童相談実施事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	増加の一途をたどる傾向にある児童虐待や児童養育相談に十分かつ適切な対応・支援を行うため、「女性子ども支援センター」に専門子ども相談員1人を増員するとともに、重篤かつ増加傾向にある児童虐待事案や養育などの相談案件に対応するため、家庭児童相談員の就労時間を週30時間から35時間に延長し、支援体制を強化した。家庭児童相談員と女性相談員の間で行っている個別ケース会議に加え、警察や児童養護施設、県、民生児童委員、学校など関係機関が参加する鳴門市要保護児童対策地域協議会における実務者会議及びケース検討会議の開催回数を増加させることで、関係機関が一丸となって広範囲かつ適切な児童虐待への支援や援助を行っていく。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	増え続ける児童虐待事案や保護者の経済的困窮などの理由から養育困難となっている児童の健全育成のための支援・援助は必要不可欠である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	児童虐待問題は深刻化が著しく、相談件数・人数の増加もあわせると、被害者支援業務の充実・拡大が求められている。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	児童虐待や養育上の問題の解決には、それぞれのケースに応じたきめ細かい支援・援助が必要であるため、一様な効率化・削減はなじまない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼			
	どのように改革するのか				